

指定管理者評価委員会の評価結果（令和4年度）

令和4年10月14日

評価対象	施設名	障害者支援施設ひまわりの家		
	設置目的・役割等	美濃加茂市障害者支援施設の設置及び管理に関する条例の趣旨による		
	施設の所在地	美濃加茂市新池町二丁目5番48号		
	規模等	敷地面積	626.0 m ²	担当課
		延床面積等	264.51 m ² (鉄骨造1階建て)	福祉課
	指定管理者名	社会福祉法人 美濃加茂市社会福祉協議会		
	指定期間	H31.4.1～R6.3.31 (公募(非公募(任意指定)))		

評価委員 (敬称略)	名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 旅人総研代表 田中 三文 コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	---

指定管理者の報告要旨

【前回の評価委員会における指摘事項への対応(改善事項)】

・平成30年度実施の評価委員会において指摘を受けた事項について、下記のとおり取り組んでいる。
 指摘事項:「ひまわりの家だけではなく、美濃加茂市全体を見て仕事を創るような取り組みがあっても良い」
 対応状況:令和元年度から今年度にかけて、加茂農林高校と協働した廃油石鹸の製造、可茂森林組合との協働による間伐材等を活用した木工製品の作成、地域ボランティアと協働した布草履の作成等を実施した。また木工製品や布草履に関しては初めての取り組みとして、今年度美濃加茂市のふるさと納税返礼品の登録申請を行い、返礼品への登録に向けて準備を進めている。

【運営状況(新型コロナウイルスの影響等)】

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が見られた令和2年度以降も、感染症対策を徹底しながら閉所することなく運営を行っている。感染症対策に係る経費の増額に関しては、補助金や処遇改善加算といった国の制度を活用するとともに、運営法人において予算措置を講じることで対応した。
 ・希望する利用者及び職員全員へ、新型コロナウイルスワクチンの接種を3回目まで実施した。
 ・交通安全教室や地域のイベントへの参加等、事業所で行われる行事はコロナ禍により過去2年間その多くが開催出来なかったが、今年度から徐々に開催し、利用者の満足度向上に努めている。
 ・ひまわりの家の民間譲渡という市の方針の下に実施された、サウンディング型市場調査及び民間譲渡に係る運営事業者募集事業へ参加した。
 ・コロナ禍において、介護実習生の受け入れ先の確保に苦慮していた県内の学校の要請を受けたため、市内の福祉系事業所への就業に結び付けたいという思いもあり、介護実習生の受け入れを実施した。

【今後に向けて】

・前回の評価委員会における指摘事項への対応状況のように、地域と協働した取り組みを実施している。今後も利用者が不安になることなく、利用者それぞれの特性に合った仕事・作業を探していきたいと考えている。
 ・地域社会・地域住民との積極的な交流や、作業に対する工賃という形での還元といったことを通じて、利用者一人ひとりが自分自身の役割を認識してもらい、利用者一人ひとりの人生に寄り添った運営を今後も継続する。

総合評価結果	二次評価	A
<p>・コロナ禍において、感染対策の徹底等様々な困難があったにもかかわらず閉所することなく運営しており、非常に評価できる。収益が出ている点も評価できる。</p> <p>・利用者が非常に積極的に参加しているとの話があった美濃太田駅の清掃活動のように、利用者が社会との関わり・繋がりを感じられる活動を今後増やしていくことを期待する。コロナ禍においては簡単なことではないが、利用者の幸せのためにも是非実現して欲しい。</p> <p>・前回の評価委員会の時と比較して、指定管理者の説明に熱意や当事者意識が感じられ、非常に良い印象を受けた。</p> <p>・ひまわりの家は、他の事業所では対応できない利用者が長く通っている施設であると感じた。今後もこのような役割の施設は必要なのではないか。運営側が役割を認識し、対応できる体制づくりを行っている点も評価できる。</p> <p>・民間譲渡によって運営事業者が変わることを懸念していたが、現在の指定管理者が最優先候補者となり、引き続き運営を続ける予定であることは、利用者のことを考えても大変好ましい。</p>		

要改善・勧告事項
<p>【指定管理者に対する要望・指摘】</p> <p>①民営化後の取り組みについて</p> <p>・令和6年度からの民営化以後も、利用者の満足度向上に向けた取り組みを継続することを望む。</p>

その他指摘事項
<p>【市に対する要望・指摘】</p> <p>①利用者への支援について</p> <p>・美濃太田駅の清掃活動のように、人から感謝されるような活動・仕事を市役所や市内企業が斡旋するなど、利用者が活躍できる場を今後も提供することが望ましい。</p> <p>②民営化後の事業者との連携について</p> <p>・これまでの施設の在り方・位置付けを踏まえ、令和6年度からの民営化以後も、現在の指定管理者と良好な関係を築き、連携を図ることを望む。</p>

●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である